

えほんのおへや通信



サンガこども園

2012年7月1日(日)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

7月1日は半夏生(はんげしょう)。この頃に降る雨を「半夏雨(はんげあめ)」といい、大雨になることが多いそうです。梅雨の中休み、晴れ間が多いこの一週間でしたが、本格的な梅雨到来はこれからかもしれません。

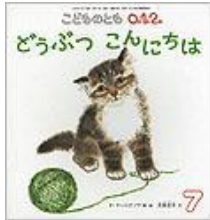
サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」7月号の紹介。

こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き

「どうぶつ こんにちは」

F・ヤールブソワ案・絵 / 児島宏子文

鶏は「こけっこ こけっこ」、雀は「ちゅんちゅんちちち」。犬や猫、牛や馬など、身近な動物が鳴き声とともに登場し、語りかけるような優しい言葉が赤ちゃんの興味をひきつけます。



こどものとも 年少版 2～4歳向き

「ぞうきばやしのすもうたいかい」

広野多珂子作 / 廣野研一絵

雑木林の切り株の上で、昆虫たちの相撲大会がはじまるよ。カナブンとタマムシ、カマキリとダンゴムシ……次々と取り組みが進み、大一番、クワガタとカブトムシの対戦! どっちも強い。さて勝ったのは?



こどものとも 年中向き 4～5歳向き

「おぼけのえんそく」

～さくびーとたろぼうのおはなし～

西平あかね作

おぼけの遠足は、海辺でのおぼけ流鍋作り。お鍋岩の中に、闇シロップと波のあわとおぼけたちがそれぞれ持ってきたものをいれて、ぐつぐつ煮込んだらできあがり! どんな味でしょう。



こどものとも 5～6歳向き

「へびをたいじしたカエル」

草山万兎作 / あべ弘士絵

アマガエルのあまおと、ヤモリのりーこは仲良しです。ある日、二匹の前に突然シマヘビが現れ、彼らの平和な暮らしが脅かされます。困ったあまおたちがどうしたらよいか相談をしていると・・・



ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き

「かむんだよ」

小野寺悦子文 / はたこうしろう絵

口の中にごはんを入れたら、あむあむもぐもぐ、かむんだよ。かんでかんでかんでると、あまさがだんだんふえてくる。とろーり、おいしくなったらごっくん。



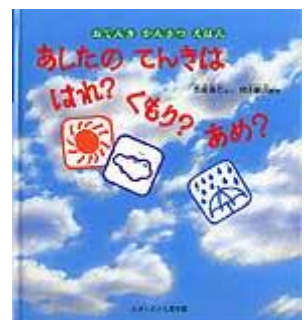
他にこんな絵本も購入しました。

「あしたのてんきははれ? くもり? あめ?」

おてんきかんさつえほん

4歳から

あしたの天気はわかったら、とってもいいですね。空を見あげてごらん。雲の形や動き、夕焼けや生き物の様子を観察するとわかるんだよ。幼い子どもにもできる天気予報の本です。



福音館書店



世界のおもしろ天気予報

世界には面白い天気予報がいろいろあります。ベルギーの「天気の時計」は、普通の教会の時計なのですが、地元の人にはこの時計の音で天気がわかるといいます。ロンドンの「ビッグベン」もまた天気の時計として知られ、14トンもあるこの時計は、その鳴り方で時計の北側の住人には雨の前兆を教え、反対の南側の住人には天候の回復を教えます。これは低気圧の通過によって風の吹き方が変わるためだそうですが、一応、科学的根拠があるといえはるのです。

【雑感】

昔、人々は自然を見て天気を予想しました。日本各地に「日和山」と呼ばれる山があります。近くには必ず漁港があり、網元がその日和山に登って、雲や風向き、海鳥の様子などを見て鐘を鳴らしたり、ノロシをあげて出漁の合図を漁船に送っていたといわれています。農家では山にかかる雲や虹、夕焼けなどで天気を予想し、明日の農作業を準備しました。

このように天気を予想することは、昔から人々にとって無くてはならないものでした。

さて、現代社会は「天気予報」という便利な情報がありますが、自分なりに自然を観察して予想するのも面白いかもしれませんね。

